



ASIC クラブニュース (第6号)

平成24年12月15日

淡路少年少女発明クラブ

編集委員 西川 玉士 森岡 達

☆今年度の主たる活動状況 (9月以降)

- ・平成24年5月12日～9月29日 アイデア工作12回実施
- ・平成24年9月12日～12月12日 淡路市内小学校への出前講座実施 (6校)
- ・平成24年10月～平成25年2月 毎月2回の課題工作を実施 (6講座10回)
- ・平成24年10月 兵庫県児童発明くふう展に16点出品 (県発明協会へ)
- ・平成24年10月14日 (日) 「いざなぎの丘元気っ子フェスティバル」に参加
- ①ロボットカーのプログラミング体験 ②紙工作体験 (ホーバークラフト) ③ロボットの操縦体験
- ・平成24年11月4日 (日) 島外体験学習&指導員研修
- ①神戸市立青少年科学館 (プラネタリウム、兵庫県学生児童発明くふう展見学・受賞式出席、科学館見学)
- ②竹中大工道具館見学・かんながけ体験
- ・平成24年11月5～6日 少年少女発明クラブ全国会議へ森岡指導員参加
- ・平成24年11月26日 (月) 企画運営委員会開催
- ・平成24年12月1・2日 (土・日) アルクリオでの作品展示・体験工作・DVDによる活動紹介
- ・平成24年12月8日 (土) 東大阪市少年少女発明クラブとの交流会

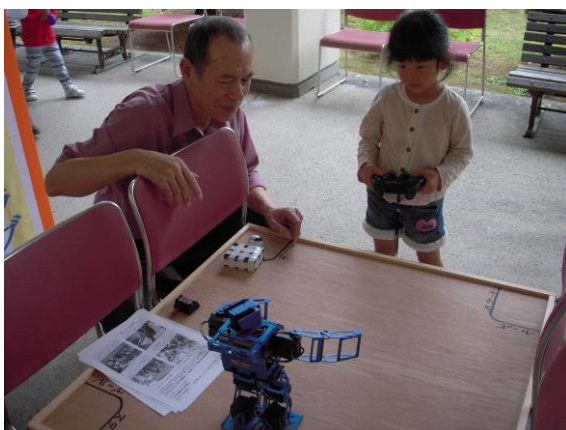
☆「いざなぎの丘元気っ子フェスティバル」に参加 10月14日 (日)



↑指導ボランティアの中学生2名がカーロボットの説明を受け、プログラミングに挑戦しました。見事クリアしていました。



↑紙工作 (ホーバークラフト) の作り方や遊び方を中学生が小学生に教えました。10人程度の小学生に指導しました。



←ロボット操縦体験は、大人気でたくさんの小学生に体験してもらえました。大人の方でもロボットが前転、後転、リズムを取りながらの決めポーズ、サッカーボールを蹴るなどの動きには驚いていました。

このフェスティバルは、毎年、子どもの健全育成を目的として淡路地域で行われています。数千人規模の集いでした。

☆島外体験学習（神戸市立青少年科学館&竹中大工道具館） 11月4日（日）

11月4日（日）にクラブ員11名が、指導員7名の引率のもと神戸市立青少年科学館と竹中大工道具館に行ってきました。科学館では、プラネタリウムや常設展示・体験コーナーを見学・体験するとともに兵庫県学生児童発明くふう展の展示も見学しました。クラブ員全員の作品が展示されていました。当クラブからは、県下特賞21点中、2点が選ばれる好成績をおさめることができました。クラブ員への大きな励みになったと思います。また、私達指導員にとっても展示作品を見ることで、今後の指導に大いに参考になりました。



神戸市立青少年科学館に到着後、すぐに玄関で記念撮影をしました。今回は保護者の参加が無く、少し残念です。来年度に期待しましょう。



今年初めて、兵庫県庁近くの竹中大工道具館に行ってきました。色々な種類の古代から現代までの大工道具が展示されていました。地下でかんながけの体験もさせてくれました。色々なおののする木材がありましたね。

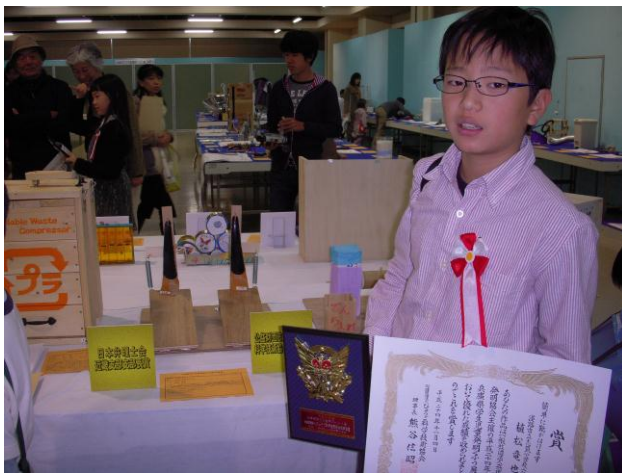
☆島外体験学習に参加して（クラブ員の感想）

- ・ぼくは、昔の大工さんはどうしていたのだろうと思っていました。見ていると、びっくりするような道具がいっぱいあったのですごくびっくりしました。すごくおもしろかったです。
- ・発明くふう展を見て、こんなにたくさん発明クラブをしている人がいたなんてびっくりしました。
- ・一番心に残ったのは竹中大工道具館で、かんながけをしたことです。今年は発明クラブで賞をもらえなかったけど、これを生かして、これからもがんばりたいです。
- ・竹中大工道具館を見て驚いたことは、縄文時代から現代までの大工道具があったことです。でも一つ気になったことは、削りくずのにおいがめっちゃくちゃくさいことです。でも、もう一回行ってみたいです。
- ・神戸市立青少年科学館に行って動く発明品がたくさんあって、すごい実力だと思いました。ぼくは、動く発明品をあまり作ったことがないので作りたくなってきました。また、見に行きたいです。つぎに竹中大工道具館に行って昔の道具を見て、それからカンナで木をけずって、においをかいでみたら木によってにおいがしました。また別の木でけずってみたいです。
- ・島外見学に行って、本当に楽しかったです。まず青少年科学館に行って、自分の発明を見に行きました。そしてそのことがテレビに出てきたのではずかしかったです。次に竹中大工道具館に行きました。そしてこれが歴史の勉強になったので良かったです。カンナがけ体験もしました。本当に楽しかったです。発明クラブでもっとがんばっていきましょう。
- ・発明クラブでバスに乗って青少年科学館へ行きました。科学館では賞状とクリスタルガラスのたてをもらいました。その作品は「お父さんのみすぎ注意君」です。賞をもらって、とてもうれしかったです。でも、授賞式の時間が長くて科学館での自由時間がなくなってしまいました。竹中大工道具館では、カンナがけをやらせてくれました。そして家に帰って、家族に賞状を見せたら「すっごいやん」とほめてくれました。うれしかったです。

☆出品作品の紹介（一覧表、学年順）

えさちょうだい機 (3年 正井 陽寧)	アフロちゃんのパックつぶし (5年 東根さくら)
風にもまけないふとんバサミ (3年 尾崎 陽)	頭かわかし機 (5年 今北 知宏)
二だんくつおき (3年 清水 智貴)	太陽光集光洗濯物干機 (5年 正司 智也)
ケーキ切り分けき (3年 小野 雄大)	お風呂見張り番 (6年 太田 晃生)
滑り止め付き携帯オセロ盤 (4年 大久保 潮音)	せん風機の風拡散機 (6年 下川 航平)
お父さんの呑みすぎ注意君 (4年 三津 徹大)	多目的ねんちゃくクリーナー (6年 田部 颯大)
食器洗い用ワンタッチスポンジ (5年 高田 陽介)	本のサイズに合わせて使えるブックカバー (6年 仲井 夏騎)
エコハミガキ粉 (5年 土井 茉優)	簡単に靴がはけます (6年 植松 竜也)

☆兵庫県学生児童発明くふう展 特選作品の紹介 (兵庫県下171点中の21点が特選)



- ・ 作品名 「簡単に靴がはけます」
- ・ 受賞者の学校名・学年・氏名
淡路市立志筑小学校 6年 植松 竜也
- ・ 受賞名
公益財団法人 ひょうご科学技術協会理事長賞



- ・ 作品名 「お父さんの呑みすぎ注意君」
- ・ 受賞者の学校名・学年・氏名
淡路市立郡家小学校 4年 三津 徹大
- ・ 受賞名
一般社団法人 兵庫県発明協会奨励賞

☆アルクリオでの作品展示・体験工作・DVDによる活動紹介 12月1・2日 (土・日)



↑ 県発明くふう展に出品した作品や課題工作での作品を展示しました。

毎月2回実施している発明クラブの活動風景や、サンテレビで放映された番組などをDVDで紹介しました。また、クラブニュースを見学者に配布するなどして広報活動もしました。



↑ 全国発明協会の広報誌についていた数種類の紙工作を体験してもらいました。

☆東大阪市少年少女発明クラブとの指導者交流会 12月8日(土)

12月8日(土)に東大阪市少年少女発明クラブから4名の方をお招きして、指導者交流会を行いました。教室見学や課題工作「飛び出すしおりの製作」にも参加していただきました。教室終了後、研修会を行いました。研修会ではクラブの活動報告や運営・指導体制について情報・意見交換を行いました。日頃の指導上の工夫や苦勞など活発な意見交換ができました。次回は、クラブ員同士の交流会も考えていくことになりました。



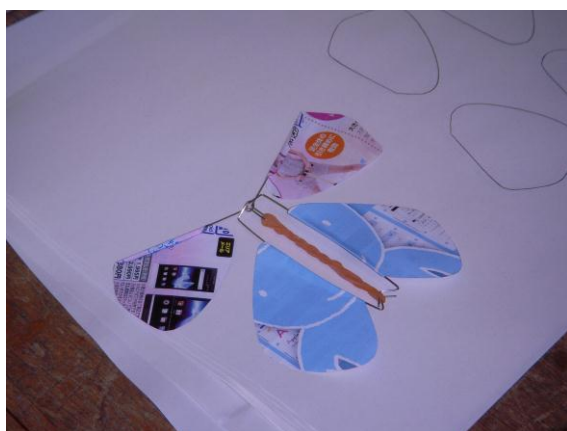
東大阪市少年少女発明クラブから来られた4名の方を、廣瀬指導チーフが紹介しているところです。



立谷指導員が、課題工作「飛び出すしおりの製作」を指導しているところです。外国のおもちゃをヒントに製作したそうです。



ステンレス線を図の通りに曲げるのに苦勞していました。ラジオペンチの使い方などを参加してくれた4名の方から教わっていました。ありがとうございました。



本の間にはさんでおいて、本を開くと、ゴムの力で上下の羽を回して、ひらひらと飛んでいくおもちゃです。ピアノ線の曲げ具合や羽の向きで、飛び方が微妙に変わってきます。ゴムをまく回数も影響します。

☆今後の主な予定

- | | | |
|-------------|----------------|--------------------------------|
| ・平成24年12月 | 課題工作 | 2回(立谷指導員主担当)「飛び出すしおり」「革製ペンケース」 |
| ・平成25年1月 | 課題工作 | 2回(西川指導員主担当)針金を使った工作(予定) |
| ・平成25年2月 | 課題工作 | 2回(向田指導員主担当)木材を使った工作(予定) |
| ・平成25年3月 | 学校訪問 | (次年度クラブ員募集) |
| ・平成25年3月9日 | 平成24年度 | 淡路少年少女発明クラブ 修了式 |
| ・平成25年3月23日 | 企画運営委員会・指導委員会 | |
| ・平成25年3月31日 | 次年度のクラブ員募集のための | 面接会 |